



関西医科大学

KANSAI MEDICAL UNIVERSITY

教育センター

CENTER FOR HEALTH PROFESSIONS EDUCATION

※本資料内容の二次利用および
無断転載・配布を禁止します

2025年度 DP達成度の状況 (主観的DP達成度)

分析対象者：在学生1-6年生 650/763名

卒業時6年生 108/109名

卒業生（卒後1・2・10年目） 111/339名

卒業生勤務先 43/56名

目次

1. 各調査の回答者数と回収率 p.1
2. 各調査でのDP達成度比較 p.2
3. 在学時～卒業後と勤務先のDP達成度評価 . . p.3-5

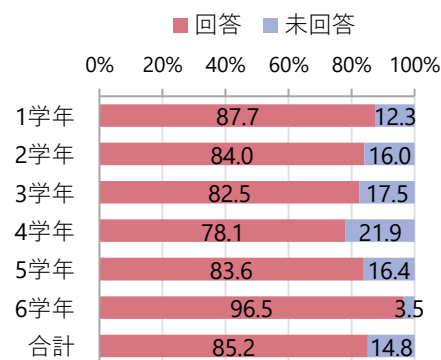
作成日：2026年 9月 26日

担 当：教育センターIR部門

各調査の回答者数と回収率

2025年度 学修時間・学修行動実態調査（在学生）

学年	回答者数	対象者数	回収率	調査実施時期
1学年	114	130	87.7%	2026年1月～2026年2月
2学年	105	125	84.0%	2026年1月～2026年2月
3学年	113	137	82.5%	2025年12月～2026年2月
4学年	100	128	78.1%	2025年11月～2026年2月
5学年	107	128	83.6%	2025年11月～2026年1月
6学年	111	115	96.5%	2025年11月～2025年11月
合計	650	763	85.2%	2025年11月～2026年2月

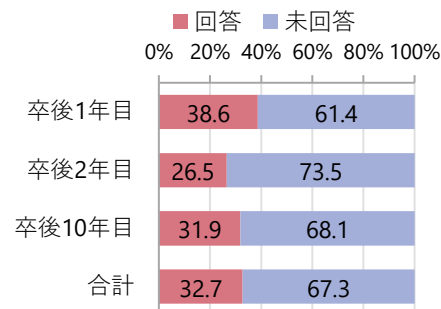


2025年度 卒業時調査（6学年・卒業時）

	回答者数	対象者数	回収率	調査実施時期
卒業生	108	109	99.1%	2026年 1月～2026年 3月

2025年度 卒業後調査（卒後1・2・10年目）

	回答者数	対象者数	回収率	調査実施時期
卒後1年目	51	132	38.6%	2026年 2月～2026年 3月
卒後2年目	30	113	26.5%	2026年 2月～2026年 3月
卒後10年目	30	94	31.9%	2026年 2月～2026年 3月
合計	111	339	32.7%	2026年 2月～2026年 3月



※卒後1、2年目は本学附属病院勤務の研修医および同窓会名簿よりアンケートを送付した。
卒後10年目は同窓会を通じてアンケートを送付した。

2025年度 卒業生勤務先アンケート

	回答者数	対象者数	回収率	平均卒後年数	調査実施時期
勤務先評価	43	56	76.8%	33.1年	2026年 2月～2026年 3月

※学外施設の本学臨床教授を対象にアンケートへの回答を依頼した。
なお、回答者の内、関西医科大学出身者は44.7%であった。

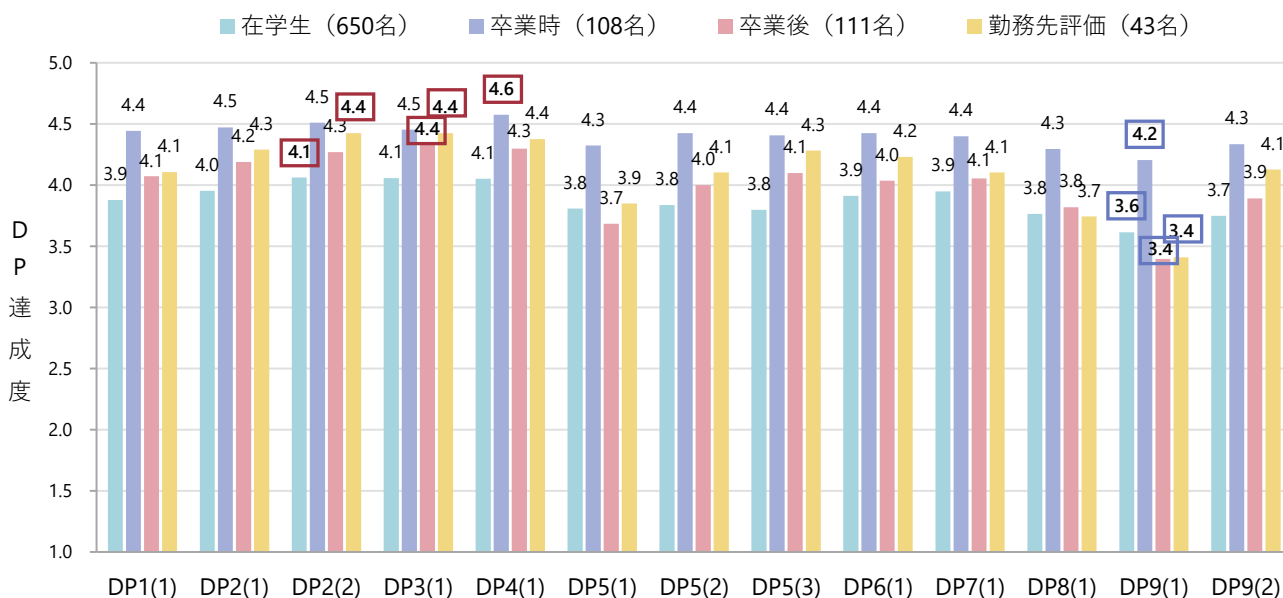
各調査でのDP達成度比較

関西医科大学ディプロマ・ポリシー

No.	大項目	小項目	DP項目内容
1	医療人としての人間性	DP1(1)	慈しみ・めぐみ・愛を心の規範として豊かな人間性を身につける。
2	プロフェッショナリズム・倫理観	DP2(1)	医師としての職責を自覚し、倫理観・使命感・責任感を涵養し、省察的態度をもって行動ができる。
		DP2(2)	法令や社会的規範を遵守し、責任ある社会人として行動ができる。
3	コミュニケーション能力	DP3(1)	コミュニケーション能力を持ち、患者・家族・同僚と良好な人間関係を築くことができる。
4	患者中心・共感の姿勢	DP4(1)	共感的姿勢を持ち、患者の立場になって行動する態度を身につける。
5	医学的知識・技能	DP5(1)	国際的・社会的に貢献できる幅広い教養、特定分野にとらわれない医学的知識を修得する。
		DP5(2)	根拠に基づいた医療を基盤とする臨床推論を実践できる。
		DP5(3)	良質で安全な医療に立脚した基本的診療能力・技能を修得する。
6	科学的思考・問題解決能力	DP6(1)	科学的な観察力・思考力・表現力を身につけ、自ら問題を解決することができる。
7	自己主導型学習・生涯学習	DP7(1)	自己主導型学習を実践し、向上心を持ち生涯にわたり学習を継続する姿勢を身につける。
8	多職種連携	DP8(1)	リーダーシップを発揮し、多職種連携による医療・研究を実践できる。
9	国際的視野・地域医療	DP9(1)	国際的視野を持ち、医療人として国際社会に貢献できる。
		DP9(2)	地域における保健・医療・福祉を理解し、医療人として地域社会に貢献できる。

在学生、卒業時、卒業後のDP達成度自己評価および勤務先DP達成度評価

※学修実態調査（在学生）は1（達成できていない）～5（達成できた）、卒業時調査は1（到達できていない）～5（十分に到達できた）、卒業後調査では1（該当しない）～5（該当する）で到達目標の達成度を自己評価。
勤務先アンケートでは勤務中の「本学卒業生の医師」について1（該当しない）～5（該当する）で評価。

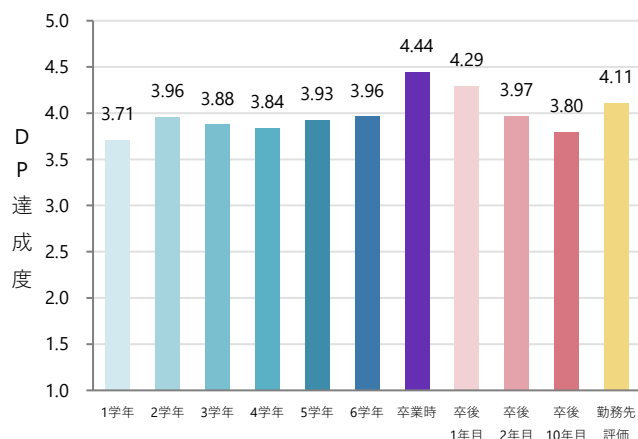


まとめ

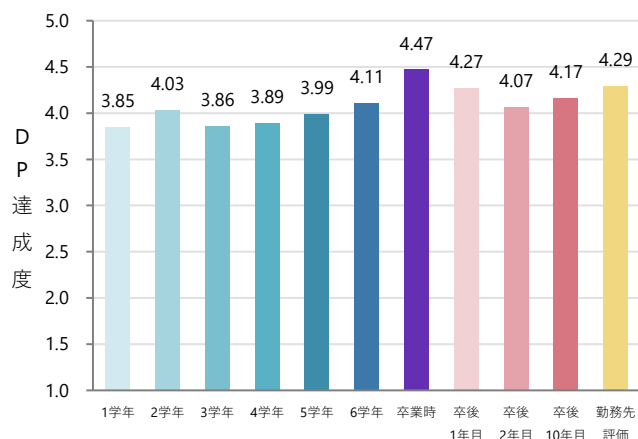
- ・ 達成度評価が高い項目：在学生の自己評価ではDP2(2)「倫理観」、卒業時はDP4「患者中心・共感の姿勢」、卒業後はDP3「コミュニケーション能力」が最も高い。勤務先評価ではDP2(2)「倫理観」とDP3「コミュニケーション能力」の評価が最も高い。いずれも共通してDP2(2)、DP3、DP4が高い。
- ・ 達成度評価が低い項目：DP9(1)「国際的視野を持ち、医療人として国際社会に貢献できる」は在学生～卒業後まで一貫して評価が最も低く、勤務先評価も最も低い。その他、DP5(1)、DP8(1)も低い。

在学时～卒業後と勤務先のDP達成度評価

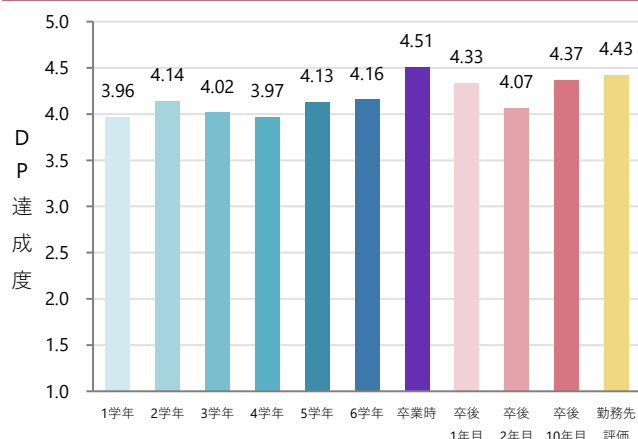
DP1(1) 慈しみ・めぐみ・愛を心の規範として豊かな人間性を身につける。



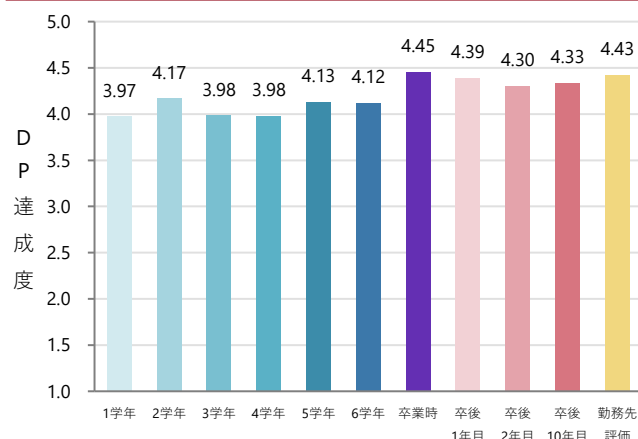
DP2(1) 医師としての職責を自覚し、倫理観・使命感・責任感を涵養し、省察的態度をもって行動ができる。



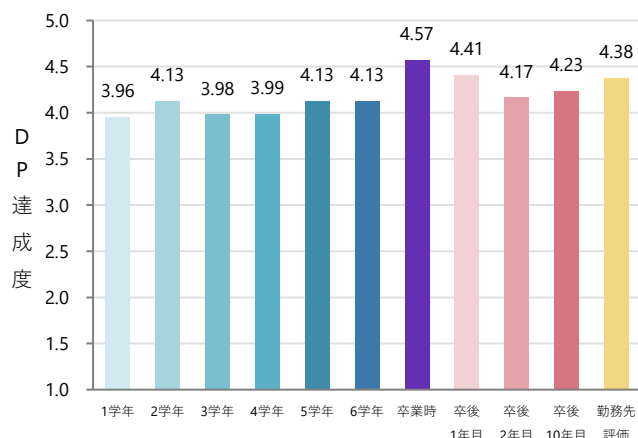
DP2(2) 法令や社会的規範を遵守し、責任ある社会人として行動ができる。



DP3(1) コミュニケーション能力を持ち、患者・家族・同僚と良好な人間関係を築くことができる。

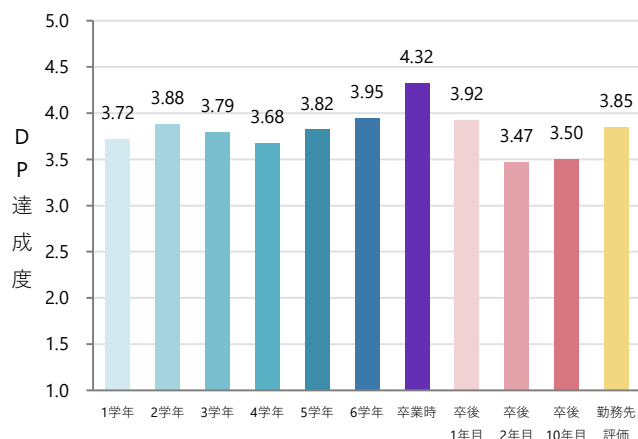


DP4(1) 共感的姿勢を持ち、患者の立場になって行動する態度を身につける。

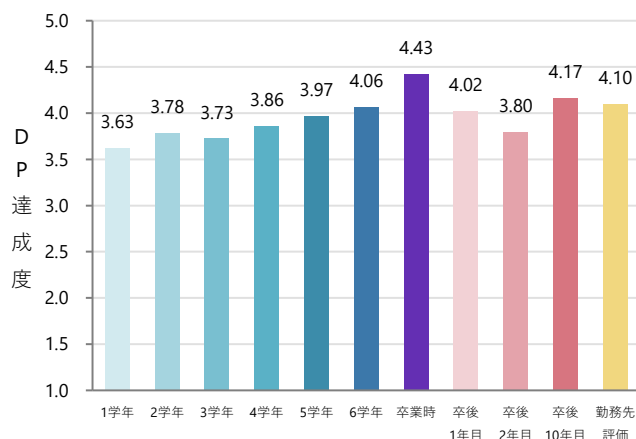


在学时～卒業後と勤務先のDP達成度評価

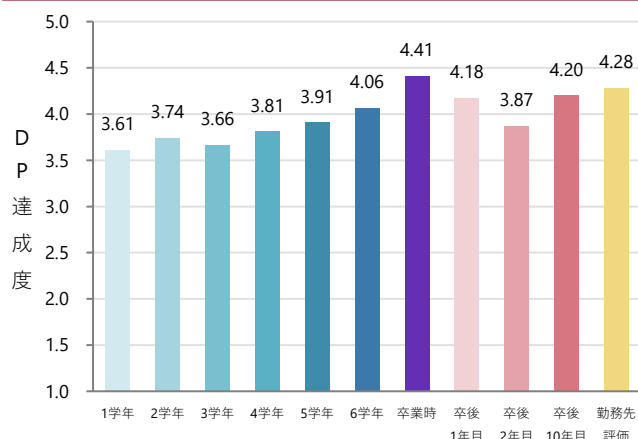
DP5(1) 国際的・社会的に貢献できる幅広い教養、特定分野にとらわれない医学的知識を修得する。



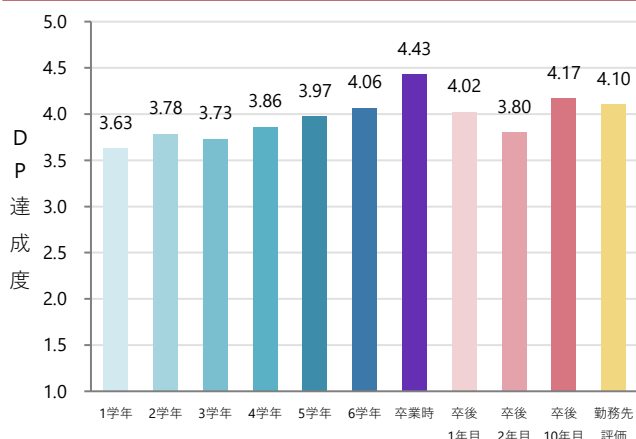
DP5(2) 根拠に基づいた医療を基盤とする臨床推論を実践できる。



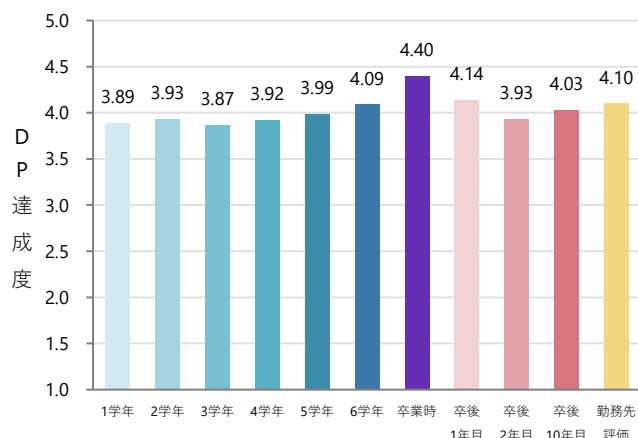
DP5(3) 良質で安全な医療に立脚した基本的診療能力・技能を修得する。



DP6(1) 科学的な観察力・思考力・表現力を身につけ、自ら問題を解決することができる。

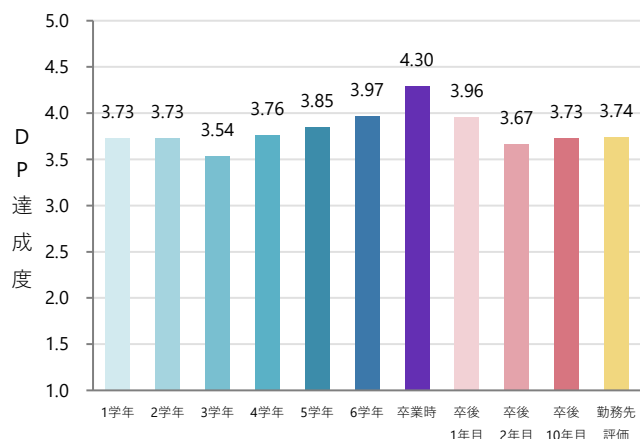


DP7(1) 自己主導型学習を実践し、向上心を持ち生涯にわたり学習を継続する姿勢を身につける。

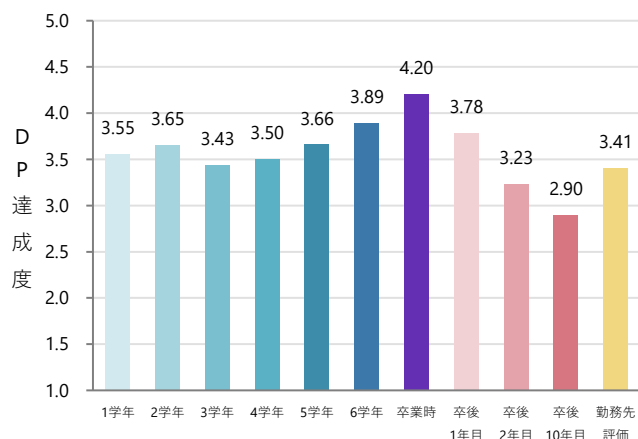


在学时～卒業後と勤務先のDP達成度評価

DP8(1) リーダーシップを発揮し、多職種連携による医療・研究を実践できる。



DP9(1) 国際的視野を持ち、医療人として国際社会に貢献できる。



DP9(2) 地域における保健・医療・福祉を理解し、医療人として地域社会に貢献できる。

